

長期契約職員の正規職員化の道開かれる 団体交渉報告

団交議事録 2006年12月13日 午後13時30分～14時25分 場所：事務局 第一会議室
大学側：遠藤理事、岡崎総務部長、内藤人事課長、下山職員課長、ほか10名 組合側：執行委員長ほか13名

(: 組合側発言 : 大学側発言)

- : (大学側 組合側出席者紹介) 9月14日付け申し入れの団体交渉をはじめます。
- : はじめに交渉申し入れてから3ヶ月経過している。遺憾である。速やかに交渉に応じるようお願いしたい。
- 要求項目1.について6/9の団交で「ゼロではない」とした。調査したうえでの北大としての回答を求める。
- : この間、組合側からのたたき台アイデアを求めていた。採用は統一試験の合格者から選考している。
- 新しい制度設計をつくれという組合の要求に対し、具体的な案がないと応えることができなかった。
- 検討してきた結果、新しい制度には一定の条件を付ける。
 - ・ 昭和55年以前から勤務している者の中から正規職員化を希望する人。
 - ・ 健康・意欲・能力があり、異動可能なこと。
 - ・ 年齢58才以下(採用時の年度末年齢 定年まで残り3年)
 - ・ 試験採用の建前は崩せないため常識試験と面接試験を2年に1回から複数回(2～3回)程度。(以下はこの条件のついで質問)
- : 採用予定の割当て数は?
- : 若干名としか言えない。19年3月は明らかだが以降は不明。4/1採用は準備が遅れている。
- 来年度中の上半期、早ければ今年度中の可能性もある。試験問題は外注することも考えられる。
- : 対象者は25名である。
- : 年度末年齢(3年)58才以下を考えている。
- : 受け入れ側のことも考えての年齢制限である
- : これまで長期間放っておかれたことも考えて59才も入れて、25名全員を対象にして欲しい。
- 年次計画で順次繰り入れをしてほしい。
- : 退職者、新規採用、再雇用を合わせて考えている。
- : 25名全部を正規化することはできない。
- : 試験採用しても該当者なしということもあるのだろうか。
- : 制度を作った主旨は採用するためで、原則採用試験といっても統一試験とは違う。
- : 採用予定者が誰もいないということは無い。
- : 可能な限り採用してほしい。
- : 全員希望するとは限らない。希望者の数を見て決める。
- : 59才も含めるよう検討してほしい。
- : 検討します。
- : 現在いる場所での正規職員化はあり得ない。人事異動を伴う。
- : 制度設計の格付けプラン
 - ・ 初任給A一般・現給保証・退職金は契約職員として一旦清算
 - ・ 時期は19年度前半・休暇は持ち越し・昇格は1年か2年後にあり得る
- : 今より給与が下がることはない。基本的には今の職場ではない。
- : 技術系も異動はあるのか
- : 技術系も異動がありうる。できる範囲で採用するとしかいいない。
- : 採用されなかった人のことも考えて要求項目2.の課題に移りたい。
- : 組合の事情はわかったが、(5項目について)検討中であり改善を考えている。
- 新たな採用について変更を考えている。併せて組合と意見交換したい。
- : 病休は補償されるのか。
- : (要求項目)病気休暇の有給保証はむずかしい。
- : なぜ団交に時間がかかったのか。
- : 待遇改善か正規化か具体的に示されなかった。(組合側から)
- : 退職金の率は0.3から0.6にすべきだ。
- : 6ヶ月以上あるのでこの率である。(文部省契約職員規約)
- 組合の趣旨は理解しているので、検討する。
- : 確認書を取り交わす。